

土壤第三者評価委員会 2周年記念シンポジウムのご案内

土壤汚染対策法の施行以来、不動産鑑定基準や宅地建物取引業法施行令の改正が行われ、土壤調査や浄化についても様々な積極的な対策がなされてきました。

ところが残念なことに、土壤汚染調査・浄化対策はほとんどの場合、利害関係者だけで行われているのが現状です。土壤調査・浄化対策の検証を当事者である調査会社や関連会社が行うという、第三者性を欠くケースが多々あります。

こうした状況では、安全・安心が確立されるかについて、大きな疑問があります。私どもの評価委員会においても、知見不足の誤った対策やデータの勝手読みなど、公正性を損なうケースに多く遭遇しております。

様々な分野で第三者評価の役割が重要となっている現在、土壤汚染の調査・浄化対策の分野でも、客観的で信頼のおける第三者評価が必要です。

しっかりした評価を受けず会社に損害を与えると、株主代表訴訟が起こります。一方で、消費者は企業のする仕事の品質や提示される情報の正確性に対し、非常に敏感になっています。この6月には消費者契約法の改正により消費者団体訴訟制度が導入され、企業にとって消費者の声はますます無視できないものとなっております。

Land-Eco 土壤第三者評価委員会が発足してから1年半、評価を通じて土壤調査・浄化対策の正確性の向上や情報の信頼性の向上に寄与してまいりました。今回のシンポジウムでその一端をご紹介できればと思います。

北川正恭先生からは「不都合な真実を語る」というテーマで、地球環境問題や土壤汚染問題のあるべき取り組みの指針を、牛島総合法律事務所の牛島信先生からは司法の立場から第三者評価のコメントを戴きます。

皆様のご参加をお待ち致しております。

特定非営利活動法人 イー・ビーイング
土壤第三者評価委員会 事務局長 八木綾子
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10
ATC ビル ITM 棟 11F 西
TEL : 06-6614-1731 FAX : 06-6614-1801
E-mail : yagi@e-bing.jp URL : <http://www.e-being.jp>

土壌第三者評価委員会シンポジウムの意義

化学物質・重金属汚染は、科学・技術文明の負の遺産の一つである。

メチル水銀の水俣病、カドミウムによるイタイタイ病、PCBによる肝臓障害、近年ではアスベストによる中皮腫等々がある。

危険性自体は早くから指摘されているにもかかわらず対策がとられず、かなりの生命が損なわれてようやく犯人探しと対策が始まる。

土壌・地下水汚染は、深刻な問題を抱えている。

嘗てより地下水を利用することは少なくなったが、最近では、水道より安いコストとしての地下水利用から、都会での温泉付きマンションなど逆に利用が高まってきている。地表がアスファルトで覆われている今では直接暴露の可能性は低いものの、危険性がなくなった訳ではない。

土壌・地下水汚染は適切な処置を施せば、危険性を大幅に低下できるものの、不適切な処置や放置をすれば影響範囲は拡大し、今後ますます重要性を増す地下水の健全性を損ない、修復のための期間と経費を次世代に課すことになる。

このような危険性の中で、土壌・地下水の調査・浄化対策事業が的確になされているかと言えば、必ずしもそうではない。

もちろん専門的な知識と技術をもって、土壌・地下水の安全に寄与している事業者がほとんどである。

しかし一方で、不適切な工事により汚染を拡大させてしまったり、コスト重視で上面だけの浄化対策を行ったり、ひどい場合は汚染を隠すためにデータを改ざんしたりといったことが行われているのも事実である。

その上、金融機関やファンド、不動産会社が土壌調査・浄化対策の評価を調査・浄化機関に依頼する状況など、利益相反する二者評価の問題も横行している。

土壌第三者評価委員会は、基調講演とシンポジウムにより、土壌・地下水汚染問題の不都合な真実を共通の知識とするべく企画した。

特に土壌・地下水汚染と調査・浄化対策事業の実態をお知らせすると共に、調査・浄化の内容を正當に公平に評価し、市民の健康、企業のリスク管理に資することをお伝えするものである。企業と市民、行政の方々に調査・浄化の実態を知って貰い、第三者評価の意義を理解し行動を起こして貰う一助になればと考えている。

9月7日（金） 土壤第三者評価委員会シンポジウム プログラム

第1部 土壤第三者評価委員会

（総合司会）土壤第三者評価委員会 事務局長 八木綾子

1. 来賓挨拶

13:30-13:40 早稲田大学大学院公共経営研究科 教授

北川 正恭 氏

13:40-13:50 牛島総合法律事務所

牛島 信 氏

2. 評議会議長挨拶 「土壤第三者評価委員会の更なる発展を期待する」

13:50-14:00 評議会 議長（同志社大学経済学部 教授）

郡 篤 孝

第2部 事例報告

事例報告

14:00-14:15 土壤第三者評価委員会 委員長

（大阪産業大学人間環境学部 学部長 教授 工学博士）

菅原 正孝

報告補足 土壤第三者評価委員会 事務局長 八木綾子

休憩（10分間） 14:15-14:25

第3部 基調講演・シンポジウム

1. 基調講演 「不都合な真実を語る」

14:25-15:15 早稲田大学大学院 公共経営研究科 教授
「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調) 代表
前 三重県知事

北川 正恭 氏

2. 講演 「土壤調査・浄化対策 海外の最新事情報告」

15:15-15:35 土壤第三者評価委員会 副委員長

（滋賀県立大学 環境科学部 教授 農学博士）

川地 武

3. シンポジウム 「土壤の安全・安心は本当に守られているのか？」

15:35-16:50 パネリスト：

読売新聞社 記者

山畑 洋二 氏

牛島総合法律事務所 弁護士

井上 治 氏

株式会社淡海環境デザイン 代表取締役社長

姜 永根 氏

（社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会

常任理事・西日本支部長

三沢 邦子 氏

土壤第三者評価委員会 副委員長

（株式会社杉山・栗原環境事務所 代表取締役）

杉山 涼子

土壤第三者評価委員会 委員

（東京農工大学大学院共生科学技術研究院 教授 工学博士）

養王田 正文

ファシリテーター：

土壤第三者評価委員会 副委員長

（滋賀県立大学環境科学部 教授 農学博士）

川地 武

4. 主催者挨拶

16:50-16:55 住宅新報社 新聞企画部 次長

阿出川 昇 氏

16:55-17:00 NPO法人 イー・ピーイング 理事

土壤第三者評価委員会 副委員長

杉山 涼子

（運営統括）イー・ピーイング チーフプランナー 井上 明子

- - - 記 - - -

土壌第三者評価委員会 2周年記念シンポジウム
 「土壌の安全・安心は本当に守られているのか？」

日時 : 2007年9月7日(金) 13:30-17:00
 場所 : 品川イーストワンタワー 21階 大会議室
 定員 : 100名(先着順)
 参加費 : 8,000円(資料冊子・コーヒープレイク)

お申し込みはお早めをお願い致します。
 請求書、領収書が必要な方は、ご連絡ください。
 参加費のお支払いは、H19年8月31日(金)までに、お振込にてお願い致します。

<振込先>
 三菱東京UFJ銀行 心斎橋支店
 普通:4519354
 特定非営利活動法人イー・ビーイング

品川イーストワンタワー(品川駅直結)



下記にご記入後 FAX で、または同内容を E-mail でお送りください。

お申し込み先 FAX 06-6614-1801 E-mail : yagi@e-being.jp

貴社名/ 貴団体名			
お名前	フリガナ	部署・役職	
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

振り込み予定日をご記入ください： 月 日